

# イノベーション推進に向けた特許の保護対象

## 〔目次〕

●ご挨拶	日本弁理士会中央知的財産研究所所長 伊丹 勝	i
●序 文	主任研究員 高林 龍	iii
●研究部会研究員		iv
<hr/>		
・ 際物（キワモノ）発明に関する特許権の行使に対する規律のあり方		
— 創作物アプローチ vs. パブリック・ドメイン・アプローチ —	田村 善之	1
・ 用途発明の意義		
— 用途特許の効力と新規性の判断 —	前田 健	25
・ 用途発明と差止判決	三村 量一	47
・ パブリック・ドメイン保護の観点からの新規性と先使用の再構成		
— 用途発明・パラメータ発明を題材に —	吉田 広志	57
・ 食品用途発明の問題点と課題		
— 機能性食品の特許による保護の視点から —	加藤志麻子	75
・ ソフトウェア関連発明の取扱いが特許出願活動にもたらす影響に関する考察	山口 和弘	89
・ 特許法上の諸論点と、「課題」の一气通貫		
（サポート要件・進歩性判断における「課題」を中心として）	高石 秀樹	115
・ 医療行為の特許保護		
— 川上規制から川下規制へ —	清水 義憲	145
・ 医薬品の開発インセンティブの担保と特許制度・薬事制度の在り方	石埜 正穂	163
・ AIと進歩性		
— 若干の問題提起 —	中山 一郎	179
・ 欧州特許条約の下での記載要件と進歩性		
— どのようなものが特許になるのか contribution to the art —	相田 義明	201
・ 宇宙で実施される発明の特許による保護		
— 現状の把握を中心に —	伊藤健太郎	215
・ 「植物の品種」又は「本質的に生物学的な植物の育成の方法」の保護		
— 一種苗法による保護と特許法による保護との交錯 —	川田 篤	225

「用途発明—その権利成立と権利行使の場面での問題をめぐって—」……………	高林 龍	247
	田村 善之	
	前田 健	
	三村 量一	
	清水 義憲	
	加藤志麻子	

---

●事項索引……………	321
●判例索引……………	325
●アンケート……………	333